

## 環境学習についてのアンケート結果

県では環境学習を推進するための計画(第四次滋賀県環境学習推進計画)の改定に向け、県民の皆様の声を調査する目的で、アンケート調査を実施しました。

★調査時期:令和6年5月

★対象者: 県政モニター300人

★回答数: 275人(回答率91.7%)

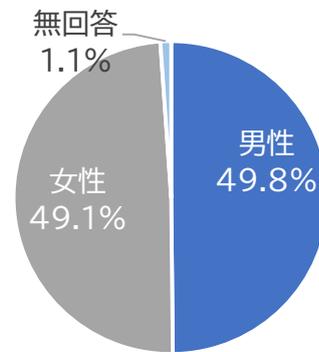
★担当課: 琵琶湖環境部 環境政策課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

### 属性

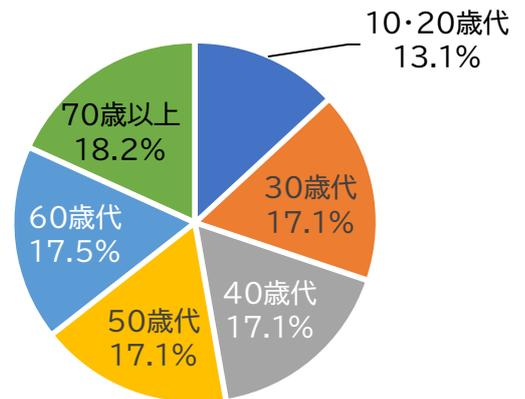
#### ◇性別

項目	人数	割合
男性	137	49.8%
女性	135	49.1%
無回答	3	1.1%
合計	275	100.0%



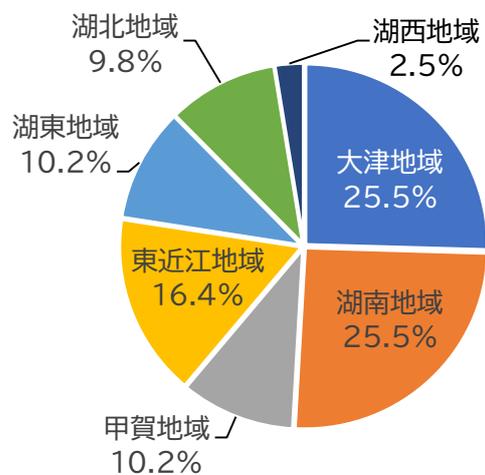
#### ◇年代

項目	人数	割合
10・20歳代	36	13.1%
30歳代	47	17.1%
40歳代	47	17.1%
50歳代	47	17.1%
60歳代	48	17.5%
70歳以上	50	18.2%
合計	275	100.0%



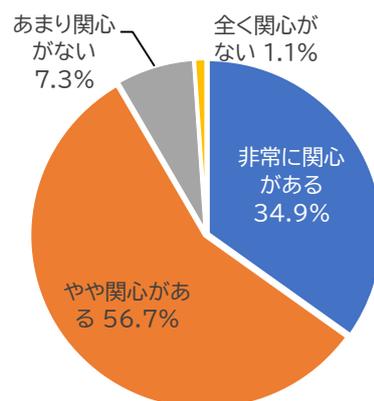
◇地域

項目	人数(人)	割合
大津地域	70	25.5%
湖南地域	70	25.5%
甲賀地域	28	10.2%
東近江地域	45	16.4%
湖東地域	28	10.2%
湖北地域	27	9.8%
湖西地域	7	2.5%
合計	275	100.0%



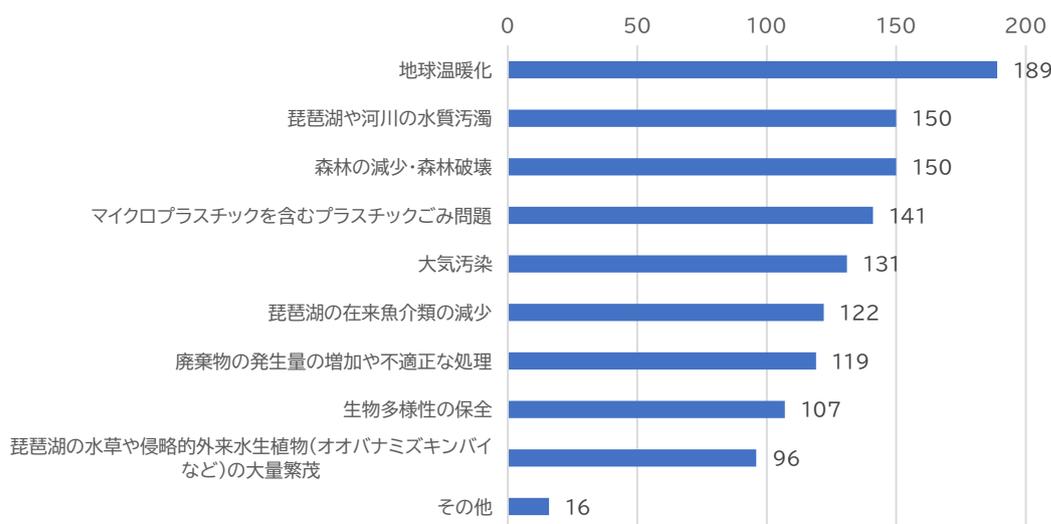
問1. あなたは、環境問題に関する関心がありますか。(n=275)

項目	人数	割合
非常に関心がある	96	34.9%
やや関心がある	156	56.7%
あまり関心がない	20	7.3%
全く関心がない	3	1.1%
合計	275	100.0%



問2. 問1で「非常に関心がある」、「やや関心がある」と回答された方におたずねします。下記の環境問題で関心のあるものを選んでください。(回答チェックはいくつでも n=252)

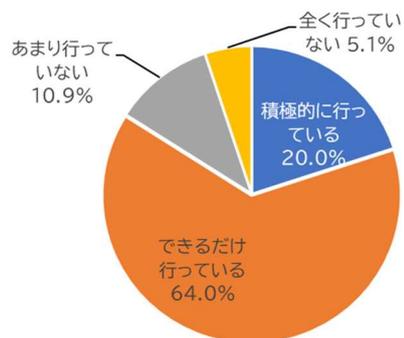
項目	人数(人)	割合
地球温暖化	189	75.0%
森林の減少・森林破壊	150	59.5%
琵琶湖や河川の水質汚濁	150	59.5%
マイクロプラスチックを含むプラスチックごみ問題	141	56.0%
大気汚染	131	52.0%
琵琶湖の在来魚介類の減少	122	48.4%
廃棄物の発生量の増加や不適正な処理	119	47.2%
生物多様性の保全	107	42.5%
琵琶湖の水草や侵略的外来水生植物(オオバナミズキンバイなど)の大量繁茂	96	38.1%
その他	16	6.3%



問3. あなたは、日頃、環境保全行動※を行っていますか。(n=275)

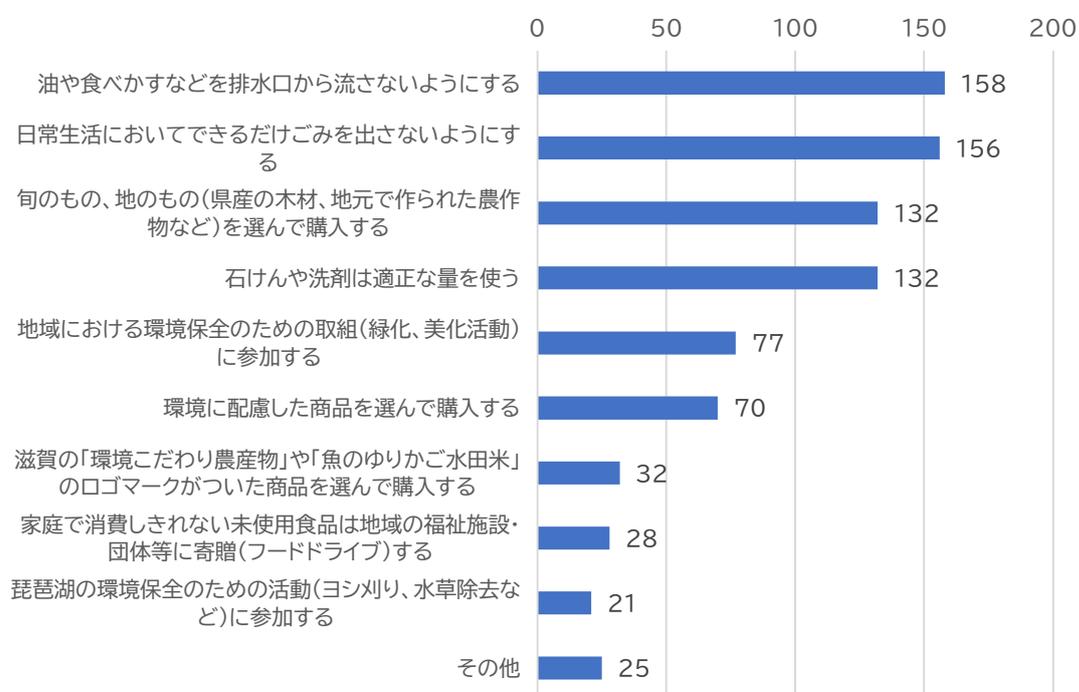
※環境保全行動…マイバッグ持参、節電、琵琶湖の清掃やヨシ刈り体験への参加など、環境保全のために行う行動のこと。

項目	人数	割合
積極的に行っている	55	20.0%
できるだけ行っている	176	64.0%
あまり行っていない	30	10.9%
全く行っていない	14	5.1%
合計	275	100.0%



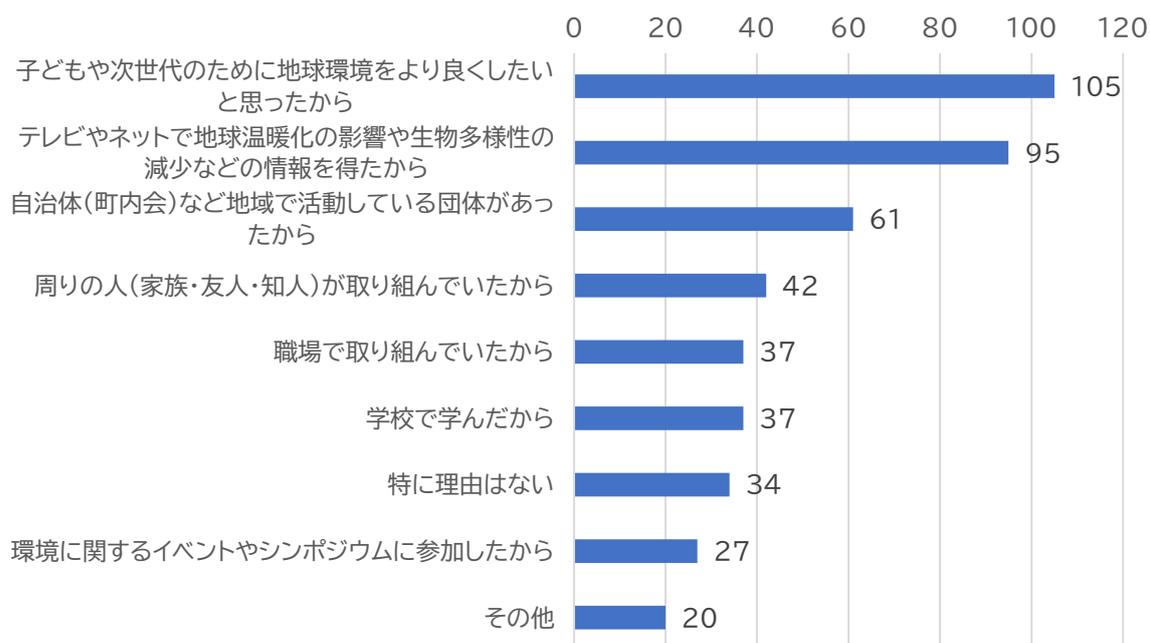
問4. 問3で「積極的に行っている」、「できるだけ行っている」と回答された方におたずねします。普段の生活の中で、具体的に行っている取組を教えてください。(回答チェックはいくつでも n=231)

項目	人数	割合
油や食べかすなどを排水口から流さないようにする	158	68.4%
日常生活においてできるだけごみを出さないようにする	156	67.5%
石けんや洗剤は適正な量を使う	132	57.1%
旬のもの、地のもの(県産の木材、地元で作られた農作物など)を選んで購入する	132	57.1%
地域における環境保全のための取組(緑化、美化活動)に参加する	77	33.3%
環境に配慮した商品を選んで購入する	70	30.3%
滋賀の「環境こだわり農産物」や「魚のゆりかご水田米」のロゴマークがついた商品を選んで購入する	32	13.9%
家庭で消費しきれない未使用食品は地域の福祉施設・団体等に寄贈(フードドライブ)する	28	12.1%
琵琶湖の環境保全のための活動(ヨシ刈り、水草除去など)に参加する	21	9.1%
その他	25	10.8%



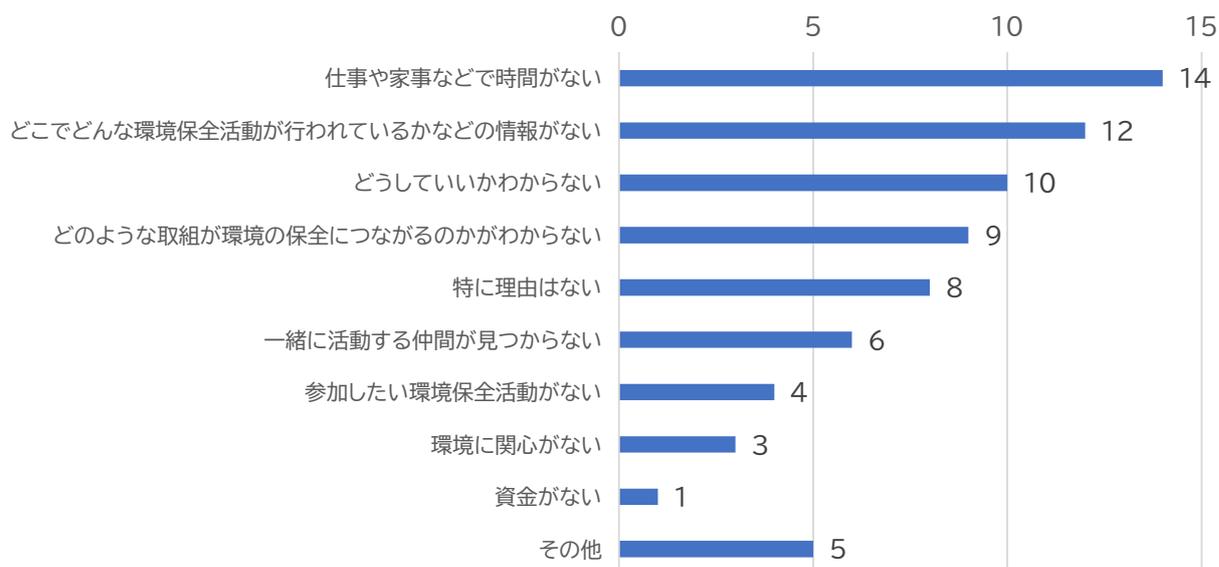
問5. 問3で「積極的に行っている」、「できるだけ行っている」と回答された方におたずねします。環境保全の取組を始めた理由を教えてください。（「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=231）

項目	人数	割合
子どもや次世代のために地球環境をより良くしたいと思ったから	105	45.5%
テレビやネットで地球温暖化の影響や生物多様性の減少などの情報を得たから	95	41.1%
自治体(町内会)など地域で活動している団体があったから	61	26.4%
周りの人(家族・友人・知人)が取り組んでいたから	42	18.2%
学校で学んだから	37	16.0%
職場で取り組んでいたから	37	16.0%
特に理由はない	34	14.7%
環境に関するイベントやシンポジウムに参加したから	27	11.7%
その他	20	8.7%



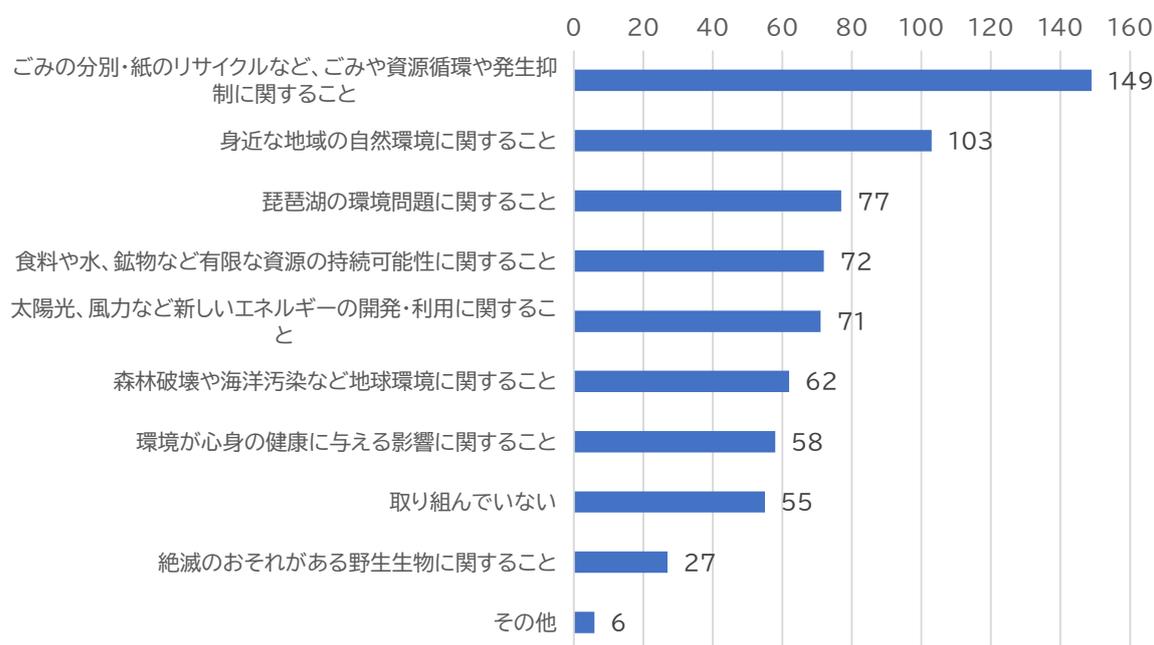
問6. 問3で「あまり行っていない」または「全く行っていない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。（「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=44）

項目	人数	割合
仕事や家事などで時間がない	14	31.8%
どこでどんな環境保全活動が行われているかなどの情報がない	12	27.3%
どうしていいかわからない	10	22.7%
どのような取組が環境の保全につながるのかわからない	9	20.5%
特に理由はない	8	18.2%
一緒に活動する仲間が見つからない	6	13.6%
参加したい環境保全活動がない	4	9.1%
環境に関心がない	3	6.8%
資金がない	1	2.3%
その他	5	11.4%



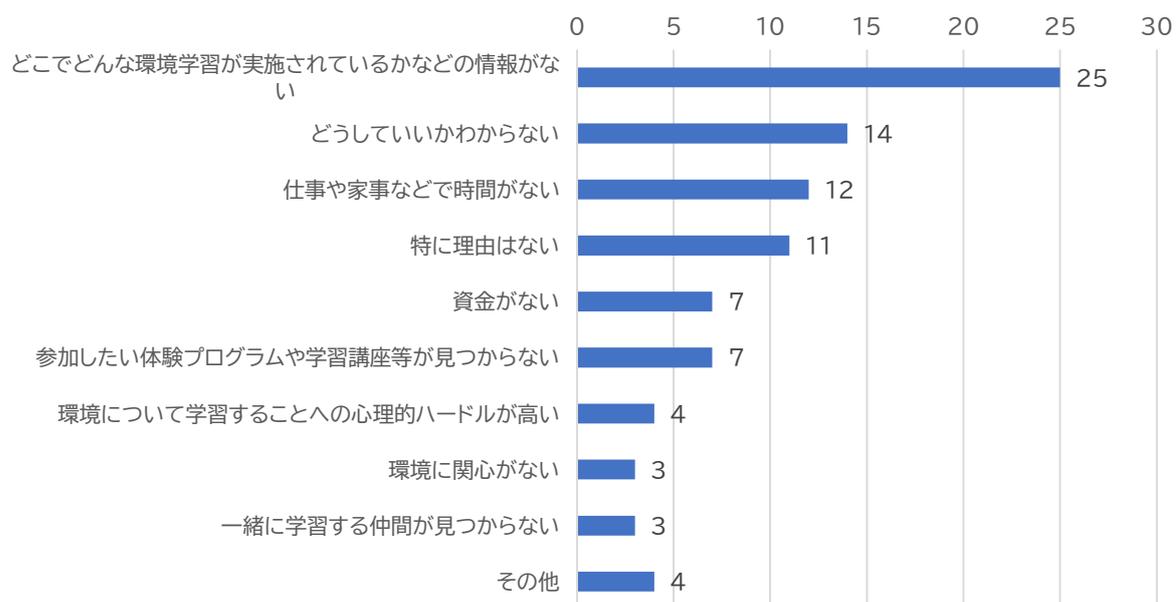
問7. あなたが日ごろ取り組んでいる環境学習の内容を教えてください。(「取り組んでいない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=275)

項目	人数	割合
ごみの分別・紙のリサイクルなど、ごみや資源循環や発生抑制に関するこ と	149	54.2%
身近な地域の自然環境に関すること	103	37.5%
琵琶湖の環境問題に関すること	77	28.0%
食料や水、鉱物など有限な資源の持続可能性に関すること	72	26.2%
太陽光、風力など新しいエネルギーの開発・利用に関すること	71	25.8%
森林破壊や海洋汚染など地球環境に関すること	62	22.5%
環境が心身の健康に与える影響に関すること	58	21.1%
取り組んでいない	55	20.0%
絶滅のおそれがある野生生物に関すること	27	9.8%
その他	6	2.2%



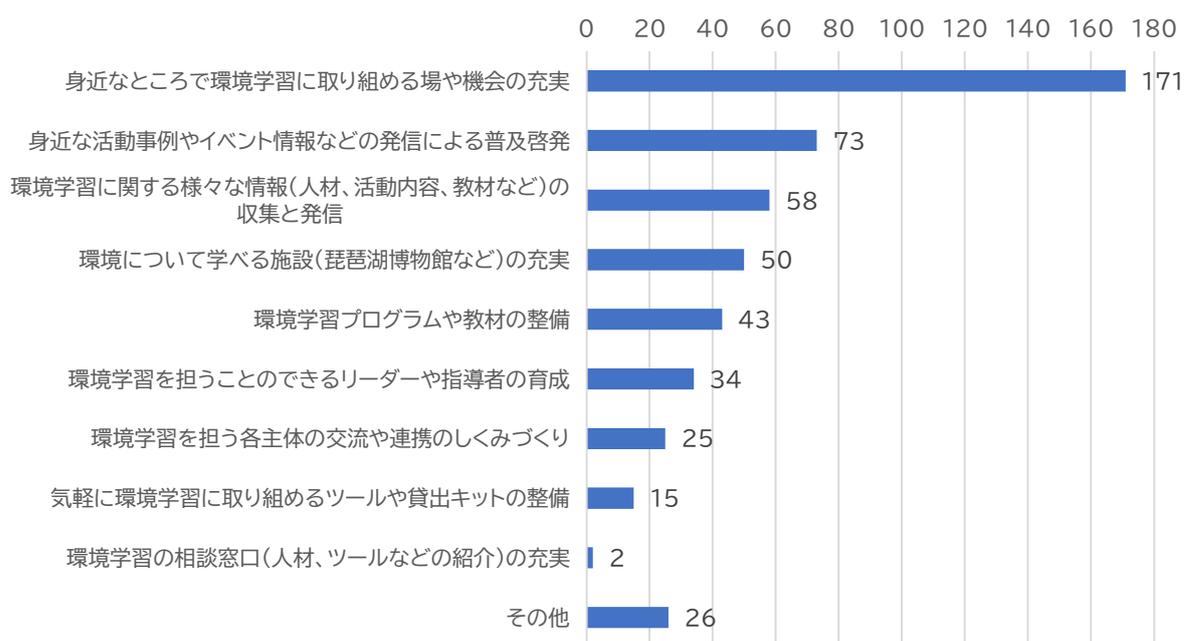
問8. 問7で「取り組んでいない」と回答された方におたずねします。その理由は何ですか。（「特に理由はない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでも n=55）

項目	人数	割合
どこでどんな環境学習が実施されているかなどの情報がない	25	45.5%
どうしていいかわからない	14	25.5%
仕事や家事などで時間がない	12	21.8%
特に理由はない	11	20.0%
参加したい体験プログラムや学習講座等が見つからない	7	12.7%
資金がない	7	12.7%
環境について学習することへの心理的ハードルが高い	4	7.3%
一緒に学習する仲間が見つからない	3	5.5%
環境に関心がない	3	5.5%
その他	4	7.3%



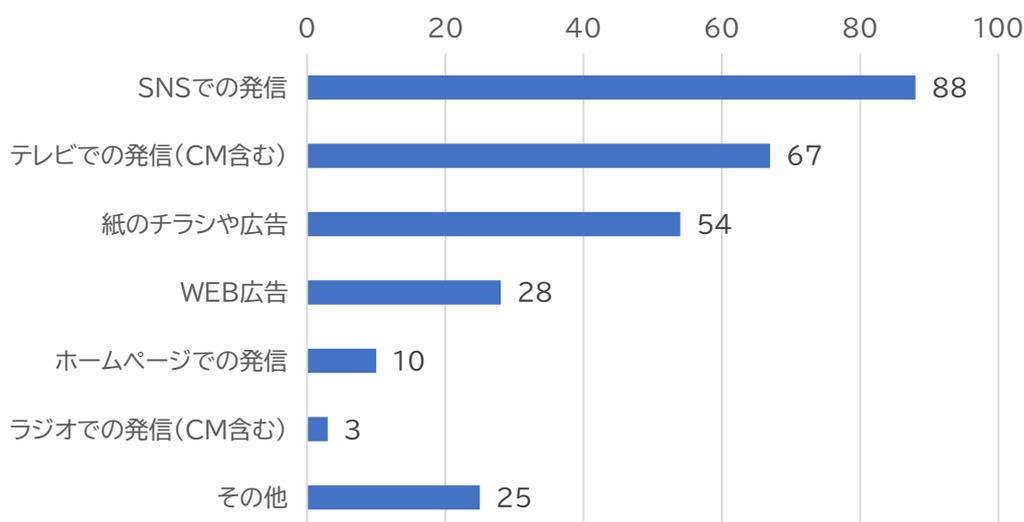
問9. 多くの人に環境学習に参加してもらうために、県が優先して取り組むべきだと思うものは何ですか。(回答チェックは2つまで n=275)

項目	人数	割合
身近なところで環境学習に取り組める場や機会の充実	171	62.2%
身近な活動事例やイベント情報などの発信による普及啓発	73	26.5%
環境学習に関する様々な情報(人材、活動内容、教材など)の収集と発信	58	21.1%
環境について学べる施設(琵琶湖博物館など)の充実	50	18.2%
環境学習プログラムや教材の整備	43	15.6%
環境学習を担うことのできるリーダーや指導者の育成	34	12.4%
環境学習を担う各主体の交流や連携のしくみづくり	25	9.1%
気軽に環境学習に取り組めるツールや貸出キットの整備	15	5.5%
環境学習の相談窓口(人材、ツールなどの紹介)の充実	2	0.7%
その他	26	9.5%



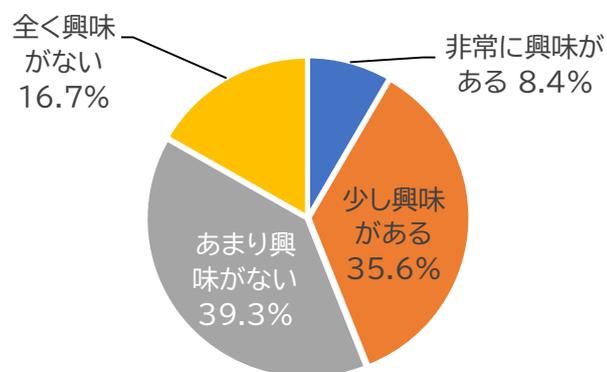
問 10. 多くの人に環境学習に参加してもらうために効果的だと思う情報発信の媒体は何ですか。最も効果的だと思うものを一つ選んでください。(n=275)

項目	人数	割合
SNSでの発信	88	32.0%
テレビでの発信(CM含む)	67	24.4%
紙のチラシや広告	54	19.6%
WEB広告	28	10.2%
ホームページでの発信	10	3.6%
ラジオでの発信(CM含む)	3	1.1%
その他	25	9.1%
合計	275	100.0%



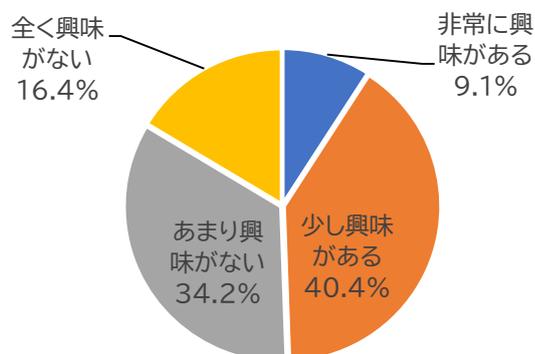
問 11. あなたは、環境学習の指導者になることに興味がありますか。(n=275)

項目	人数	割合
非常に興味がある	23	8.4%
少し興味がある	98	35.6%
あまり興味がない	108	39.3%
全く興味がない	46	16.7%
合計	275	100.0%



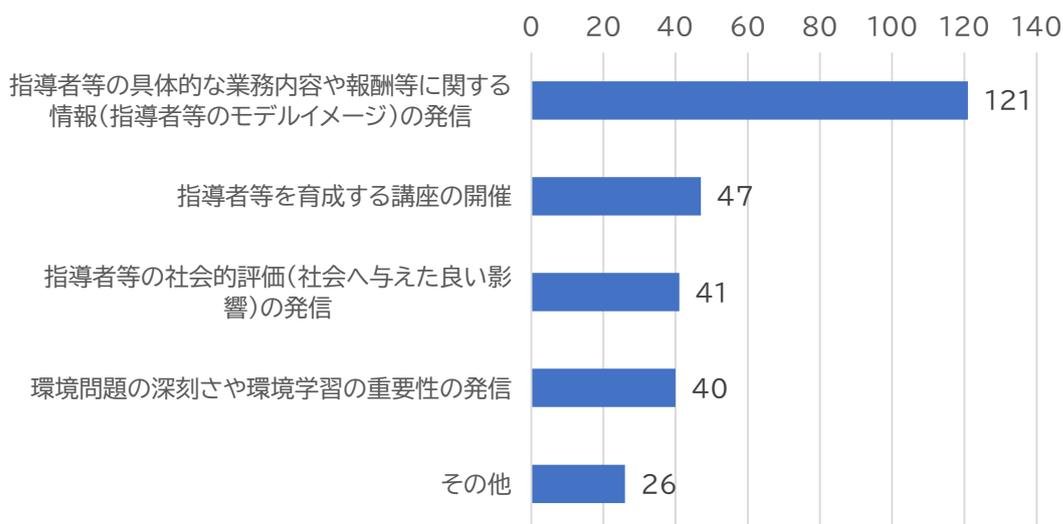
問 12. あなたは環境学習のコーディネーター(相談や調整を行う人)になることに興味がありますか。(n=275)

項目	人数	割合
非常に興味がある	25	9.1%
少し興味がある	111	40.4%
あまり興味がない	94	34.2%
全く興味がない	45	16.4%
合計	275	100.0%



問 13. 環境学習の機会を増やすにあたり、指導者やコーディネーター不足が課題になります。環境学習の指導者等を増やすために最も効果的だと思うものは何ですか。(n=275)

項目	人数	割合
指導者等の具体的な業務内容や報酬等に関する情報(指導者等のモデルイメージ)の発信	121	44.0%
指導者等を育成する講座の開催	47	17.1%
指導者等の社会的評価(社会へ与えた良い影響)の発信	41	14.9%
環境問題の深刻さや環境学習の重要性の発信	40	14.5%
その他	26	9.5%
合計	275	100.0%



問 14. 琵琶湖博物館環境学習センターが運営するウェブサイト「エコロシーガ」にどのような情報があるとよいと思いますか。

※「エコロシーガ」はこちら <https://www.ecoloshiga.jp/>

※すでにある情報をご記入いただいてもかまいません。

(一部抜粋)

- ・身近な生活で取り組みそうな、環境に良い行動の紹介。
- ・クイズ形式で環境について学ぶページがあれば、楽しく学べと思います。
- ・レジャー(アウトドア・キャンプ)などとの結び付け情報。
- ・小学生の子どもでも、興味を持って自主的に検索したくなるようなページ作りが必要かと思います。子どもには、少し内容が難しいです。
- ・ごみ問題やリサイクルについて学べるコーナー
- ・内容を充実させるのも大切ですが、まずは HP リンクを含めたイベントのお知らせなどを小中学校の連絡アプリを通して周知してもらうのはいかがでしょうか。
- ・募集情報のところはデフォルトで締切が早い順に並んでる方が良いと思いました。
- ・参加者同士が交流できるような、コミュニティーフォーラムもあつたら良いと思いました。
- ・イベントレポート(同じくらいの家族構成で参加できるか検討できるため)
- ・琵琶湖に住んでいる外来種がどんな悪影響を与えているか? 植物や魚たちがどれくらい減っているかをわかり易く教えてほしいです。
- ・琵琶湖の環境美化のボランティア告知
- ・相互リンク! こんな魅力的なホームページの存在を今まで知りませんでした。琵琶湖博物館とか佐川美術館とか、公共っぽい施設のホームページからもアクセスできれば、エコロシーガのウェブサイトにとどりつけそうです。
- ・エコロシーガのトップページや目につきやすい所に環境学習の指導者やコーディネーター情報を載せると良いと思う。
- ・ウェブサイトに通りに着く時点で相当環境学習に興味があると見受けられるので、それほどやる気のある人には責任感のある立場になってもらえるよう誘導する必要があるかと思います。なので他の指導者と交流できる集会の情報やリーダーになる流れを意識できるような活動の紹介などがあると良いのではないのでしょうか。
- ・一番最初にこのサイトがどういうものなのかの説明文があると良いと思いました。
- ・環境がよくなっているか悪くなっているか目に見えてわからないから、何か比較できるもの。
- ・子供が遊びながら学べる事を写真を多めに載せると良いと思います。遊んで学べる施設の一覧などあれば嬉しいです。
- ・以前参加したいと思ったことがあるのですが、子と孫は県外に住んでいるため対象外でした。滋賀県内に住んでいなくても、参加できるものがあればと思います。